

人生の先輩たちに聞いてみた



家族で祝った、長男・聡介君の誕生日

10年後20年後の
未来図を
探して

Interview

10年後、20年後。どんな暮らしをしているのだろうか。隣には誰がいるのだろうか。何を大切に生きているのだろうか。人生の先輩たちに、人生の話を聞いてみた。そこから、私たちの未来図も見えてくるかもしれない。

聡介君を抱いてこやかに語る志水杏奈さん



- 杏奈さんの大切なもの
- 1 家族
 - 2 健康
 - 3 生活

case.1 結婚、そして家族になる

「家族のことを一番に考える、ことだけ」

志水杏奈さん(しみずあんな・30歳)

海の見える神戸のホテルで、志水杏奈さん(30歳)が夫・裕介さん(35歳)と挙式したのは2012年6月。2年後の14年10月、長男、聡介君が誕生した。「結婚当初は、恋愛時代の延長のような感じ。遊びに行くのも買い物に行くのも、同じ家から出て同じ家に帰るのがうれしかったですね」。

豊中で生まれ育った杏奈さんと名古屋出身の裕介さんは、友人の紹介で出会った。つき合い始めてすぐに、裕介さんは結婚の意思を伝える。しかし、杏奈さんは「結婚、に対して夢や期待は一切なかったという。「19歳のとき両親が離婚したんです。それまでも、母が父に苦労させられているのを、ずっと見てきましたから」。

だから結婚相手に求めるのは「家族のことを一番考えてくれる」、それだけだった。裕介さんは、杏奈さんの思いを受け止めてくれた。結婚しても仕事は辞めたくないこと、家事を含め、何でも一緒にやっていくことも確認し合った。休日は2人で家中を掃除してから出かけるのが習慣になった。

共通の趣味はダイビング。新婚旅行でも、オーストラリアの海を満喫した。「夫の好きなバス釣り

を教えてもらったり、私がイベントや遊園地に誘ったり。楽しみの幅が広がりました」。

時にはケンカもある。皆でワイワイ過ごしたい杏奈さんと、家族でゆっくりしたい裕介さん。花火大会の日、大勢の友人を招く・招かないが原因でケンカになった。「乗り越えるべきは、生まれや育った環境より性格の違いかもしれません」。ケンカもお互いを知る手段の1つになっている。

親になって母がしてくれたことがわかる

聡介君が生まれ、「家族」への思いはより強くなった。「聡介がおるから頑張れるんやで」と息子に話しかける裕介さんに、杏奈さんの胸は熱くなる。「自分が母親になって母が私にしてくれたことがわかる。昔は母とあまり話さなかったのに、今はしょっちゅう帰ってメチャメチャしゃべります」。

昨年末、新婚時代を過ごした大阪市内から豊中市へ移った。春からは育児休業を終えて仕事に復帰する。どんな日々が待つのだろうと期待と不安が交じり合う。今の夢は、いつか3人でダイビングをすることだ。

取材担当



お互いを一番に思える そんな人と出会いたい

志水さんが家族のことを思い、話している姿はとても輝いて見え、家族を大切にされていることが感じられた。私も、家族を一番に思えるような人になりたい。そして、そのような人と出会いたいと思う。(岡西咲貴)

2人の門出となった結婚式、たくさん祝福を受けて



豊中市の施策

■妊娠が分かったら

豊中市には、妊産婦のからだや出産、乳幼児のからだのことなどについて相談できる窓口があります。保健師・助産師・看護師・栄養士・歯科衛生士等が、相談に応じます。中部保健センター TEL06-6858-2293

■子育て情報を手軽にゲット!

子育て・子育てを応援するポータルサイト「とよふぁみ」では、保育情報や子育てに役立つ情報を発信しています。

とよふぁみ 検索